



# 村職員募集

昭和六十三年四月に採用する山古志村職員を、次のとおり募集します。

〈職種および採用人員〉

一般事務 若干名

〈応募資格〉

山古志村に住所を有し、昭和四十四年四月二日から昭和四十五年四月一日までに生まれた者で、昭和六十三年三月に高等学校卒業見込みの者。

ただし、次のいずれかに該当する者は、受験できません。

- (ア)日本の国籍を有しない者。
- (イ)禁治産者および準禁治産者。
- (ウ)禁治産以上の刑に処せられ、その執行を終るまで、または執行を受けることなくなるまでの者。
- (エ)日本国憲法施行の日以後において

## お知らせ

て日本国憲法またはその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党、その他の団体を結成し、またはこれに加入した者。

〈試験〉

第一次試験（高等学校卒業程度の内容の筆記試験）および第二次試験（面接試験）とします。

▼第一次試験の日時・会場

昭和六十二年十月四日（日）、午前九時～午後三時十分。県立長岡大手高等学校（長岡市四郎丸町）。

▼第二次試験の日時・会場については、第一次試験の合格者に通知します。

〈合格者の決定〉

第一次試験に合格し、第二次試験を受けた者の中から合格者を決定します。

〈受験申込〉

八月三十一日までに、次の書類を添えて「役場総務課」へ申し込

## 基本健康診査事後指導会

期日	受付時間	会場	対象地区	マイクロバス運行時間
8月4日(火)		村民会館	竹 沢	山中小川春雄さん宅前発午後1時
8月5日(水)	午後	東 竹 沢 小学校	東 竹 沢	小松倉松崎六太郎さん宅前発午後1時 木庵松井治二さん宅前発午後1時15分
8月21日(金)	1時15分	農産物処理加工場	種 芋 原	
8月25日(火)	1時30分	虫亀集落センター	虫 亀	
8月26日(水)		池谷集落センター	池谷、櫛木 大久保	櫛木畔上直吉さん宅前発午後1時 大久保神社前発午後1時15分

## 8月の

### 納.税.保険料

- ★国民健康保険料
- ★国民年金保険料
- ★村・県民税
- ★保育料（8月分）

（一）受験申込書（用紙は、役場総務課に用意してあります）  
（二）写真三枚（タテ四cm×ヨコ三cm）  
※不明な点は、役場総務課庶務係にお問い合わせください。

7月21日～8月20日

## 夏の交通事故防止運動

—忘れずに締めて走ろう

心とベルト—

### 交通安全講習会

- ・期日 八月二十六日（水）、夜七時三十分から
- ・会場 村民会館ホール
- ・主催 山古志村交通安全協議会
- ※多数ご参加ください。

## 警察官採用試験

新潟県警察本部では、男子警察官の採用試験を行います。

●受験資格

昭和三十五年四月二日から昭和四十五年四月一日までに生まれた人で、高等学校卒業程度の学力を有する人。（大学卒業または卒業見込みの人は受験できません）

●受付期間

七月十三日から九月九日まで。

●第一次試験

九月二十七日（日）

●給与

警察官は職務の特殊性から、

## 停電のお知らせ

- ・期日 8月27日 午後1時から4時まで
- ・地区 種芋原全域

給与面においては一般公務員より優遇されています。

※詳細については、お近くの警察署か駐在所にお問い合わせください。

1987  
8月  
第230号

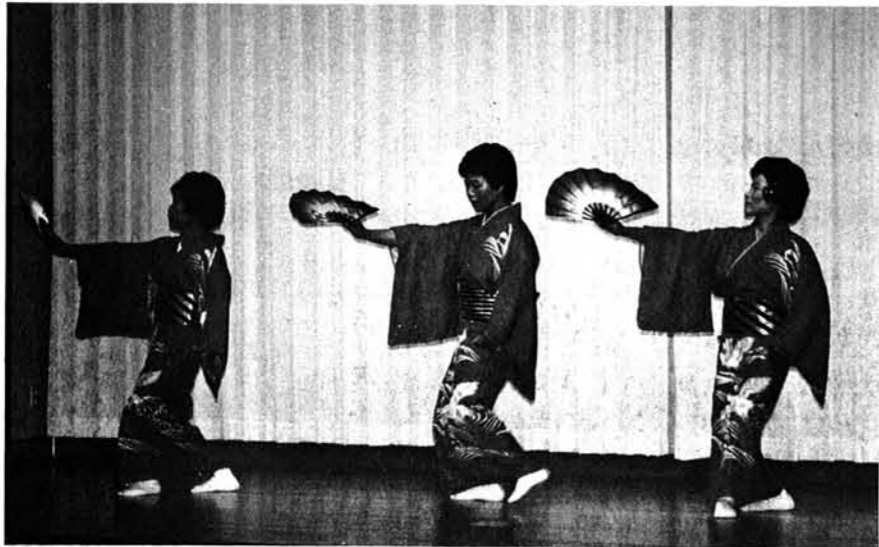
# 広報やまこし

発行/山古志村役場 947-02 新潟県古志郡山古志村大字竹沢乙461 ☎(0258)59-2330代 ■編集/総務課 ■印刷/大川印刷株式会社 ■8月1日発行



## 踊り自慢に

## 歌自慢



春の農作業も一段落した、六月二十八日の日曜日。「第十二回・民俗芸能発表会」が村民会館で行われました。

観衆は、村民会館ホール満員の約四百人。今年取り付けられた冷房装置を全開しても、まだ蒸し暑いほどの熱気でした。

開演は午後一時。日ごろの練習の成果を、一年一回のこの発表会でと、各種の芸が披露されました。

民謡あり、演歌あり、踊り、尺八はもちろん、琴、大正琴などの演奏もありました。この他、関牛太鼓や竹沢小学校の子どもたちの樽はやしなども披露されました。村外からの参加もあり、プロ顔負けの芸が司会の巧妙な話術でプログラム三十六番まで続き、閉演は四時三十分でした。

## 民俗芸能発表会



# 農業委員会

## 新委員さん

### 会長代理 松崎均さん

七月に改選された農業委員会委員。新しい委員さんが決まりました。選挙で選ばれる人は十人ですが、立候補者がちよと十人だったため、無投票となりました。他に議会と農協から各二人づつ推薦選任されました。

七月三十日に初の委員会が開かれ、新会長に樺沢忠春さん(種芋原)、会長代理に松崎均さん(東竹沢)が選ばれました。

◎新農業委員(敬称略)

・会長 樺沢忠春



樺沢会長 (種芋原) 選



松崎会長代理 (東竹沢) 選

・委員(順不同)

樺沢忠春さん

松崎均さん



川上秀雄 (東竹沢) 選



畔上忠清 (南平) 選



五十嵐順一 (虫亀) 選



長島庚午 (虫亀) 選



坂牧菊松 (種芋原) 選



青木毅 (竹沢) 選



高野耕作 (竹沢) 選



長谷川辰太郎 (種芋原) 選



星野宏吉 (竹沢) 議



青木幸七 (南平) 議



長島半 (虫亀) 議



坂牧勇 (種芋原) 議

※選は選挙で、議は議会推薦で農協推薦で選任されました。

### 新前川リポート

首相の諮問機関である経済審議会の経済構造調整特別部会(部長・前川春雄前日銀総裁)が四月末にまとめた経済構造調整策についての最終報告書。五月に経済審議会建議として首相に提出されました。昨年四月にまとめられた「前川リポート」(経済構研報告)の各論を盛り込んでいることから「新前川リポート」と呼ばれています。



日本の経済構造を輸出依存型から内需主導型に改めるため、ここ二、三年内に政策努力を集中すべき「当面の行動指針」として①宅地供給の促進など住宅・土地対策 ②輸入促進 ③農業政策見直し ④労働時間の短縮——など七分野を挙げています。宅地供給策としては「市街化区域内農地の宅地並み課税(固定資産税等)の運用強化、線引きの機動的見直し等による農地の宅地化促進」などをうたい、労働時間の短縮では年間総労働時間千八百時間(六十年時点で二千六百六十八時間)へ向けて努力するとしています。政府は緊急経済対策を皮切りに同リポートの着実な実施を目指します。

## 畜産農家に強力助っ人 堆肥処理機械導入

畜舎の堆肥を簡単に処理するために、堆肥運搬用のダンブカーと堆肥積み込み用のシヨベルローダーが導入されました。畜産農家にとって最大の悩みは、毎日の畜舎清掃時に出る堆肥の処理です。無雪期間は労力を惜しまなければ、なんとか処理はできま

す。しかし、約半年ある積雪期間はどうすることもできず、ただ毎日堆積し続けるより方法がありません。秋から春までに三十頭規模の畜舎では、百トン以上の堆肥が溜まります。今まではこれをフォークとスコップでトラックに積み運搬するのが一般的な処理方法でした。この方法は、膨大な労力と時間を必要とするため、多頭飼育者は夏の間に、冬の堆肥処理に貴重な労力を費さなければなりません。

これを解消するため、県の補助を得て、残りを農協と利用者組合(十四人)が負担し、堆肥処理機械を購入しました。(2トングブカーと500kg用シヨベルローダーのセット、四百万円)作業能力は、今までの方法に比べ約五倍、大幅な省力化ができます。畜産農家にとっては、力強い助っ人でしょう。

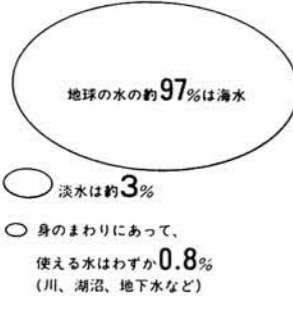
利用者組合員外の人にも貸し出します。料金は運転手付で半日一万二千円。希望者は農協にお申し込みください。また、田や畑に堆肥が欲しい人には、二トングブカーの行ける所ならどこでも運搬するそうです。料金は、稲ワラとの交換が割安で有利なようです。



### 8月1日は 水の日

地球上の水は、海や陸から蒸発して雲となり、雨や雪となって再び地上に降り、川となり一部は地下水となってやがてまた海に戻っていきます。

たえず地球上をめぐっている水。太古の昔から変わることなく繰り返されるこの大きな循環の中で、私たちは水を利用しているのです。地球上の水のうち、私たちが使える水はどれくらいあるのでしょうか。



地球上の水の約九十七％は海水であり、淡水(真水)は約三％。そして、この淡水の約七十％は、南極グリーンランド等の水です。地下水を含め、河川や湖沼など私たちのまわりにあり、使うことのできる淡水は、全体のわずか〇・八％しかありません。

## 人権相談所 開設

昭和二十四年六月一日に人権擁護委員法が施行され、国民の基本的な人権を擁護し見守る、いわば民間人による人権の番人の制度が誕生しました。これが人権擁護委員制度の始まりです。

人権は、人間が平和に生きて行く上で、最も大切な権利です。自分だけでなく、みんなの人権が尊重されなければなりません。つまり、人権は共存するものなのです。お互いに人権を守って明るい社会をつくるのが、私たちの願いです。

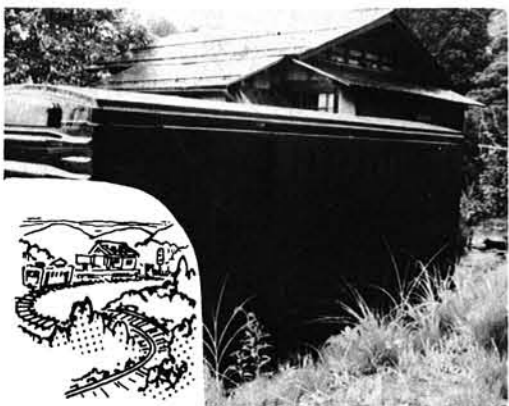
山古志村には、二人の人権擁護委員がおられます。関和男さん(梶金)と長島寅三郎さん(虫亀)です。

八月六日に「人権相談所」が開かれ、この二人の委員さんと事務局の佐藤修治さんが、相談を担当します。場所は村民会館、時間は午前十時から午後三時まで。相談は無料で、秘密は守られます。お気軽にご相談ください。またこの日以外は両委員さんの自宅の方へご相談ください。

## 山古志村に 鉄道…?

木箆の畔上義郎さん宅の庭先に、鉄道の貨車が止っています。しかし、貨物駅ができたわけではありません。よく見ると車輪がなく、プロックの上に置いてあるのです。これは三年前、畔上さんが当時の国鉄から買入し、倉庫に利用しているものです。

大きさは幅二・五m位、長さも七・八mあります。中には脱穀機、乾燥機からバインダー等農機具類が一式入っています。丈夫なため雪降しも年二・三回位ですむとのこと。クレーンで移動も可能で大変便利だそうです。みなさんいかが。価格は当時で、運搬つき二十五万円程度だったそうです。



# 国保料は 幸せを守る安心料

長い人生を通して、医療をうけなくてもすむ人、というのは稀かと思えます。国保の制度は、加入者が病気やケガをした場合に経済的に援助し合う、相互扶助を目的とした制度です。



保証料であり安心料ともいえるでしょう。

国保では次のような給付を行っています。

不幸にして病弱な人や大ケガをしたことのある人にとっては、この制度がいかに大切なものが納得いただけますが、めったに病気などしない健康な人にとっては、目先の給付がないので、保険料を納めつけていることに割りきれない感じを抱く人もなかにはあるかと思えます。

しかし、健康であるということは何にも増して幸せなことであり、誰もが願っていることでもあるわけですから、たとえ給付がなくとも喜ぶべきことではないでしょう。その意味では、保険料は幸せの

◆その他の給付  
子どもが生まれたときには助産費、被保険者死亡のときには葬祭費などの給付があります。

保険料の決め方  
各世帯に対する保険料の額は、次の四つの計算方法によって算出した額の合計です。

- ①所得割(40%)  
世帯の前年の所得に応じて計算する。
- ②均等割(35%)  
加入者一人当たりいくらかと定額で計算する。
- ③平均割(15%)  
一世帯いくらかと定額で計算する。
- ④資産割(10%)  
世帯の資産に応じて計算する。

## 国保の保険証が変わります

国民健康保険の被保険者証(保険証)が、九月一日から変わります。色は薄い緑色になります。今使っているクリーム色の保険証は八月限りで使えません。

新しい保険証は八月下旬に区長を通じて、古い保険証と引き替えに交付します。日程は後日お知らせしますが、**特**の保険証も忘れずに更新できるよう準備しておいてください。

## 保険料の計算方法(年額)

- ①所得割 (前年中の所得-26万円) × 0.085  
ただし、事業専従者控除、および譲渡所得の特別控除はしません。
- ②資産割 固定資産税 × 0.06182
- ③均等割 1人当り 19,904円
- ④平等割 1世帯当り 27,514円
- ⑤低所得者に対する軽減額  
イ、所得が28万円以下の世帯  
1人当り 10,906円  
1世帯当り 15,212円  
ロ、所得が世帯主28万円と他の被保険者1人につき20万5千円の合計より低い世帯  
1人当り 7,271円  
1世帯当り 10,141円
- ⑥最高限度額 1世帯 39万円



ゆうすげ

## 今年の国保料

今年の国民健康保険料が決まりました。現在、被保険者数は、千九百三人。昨年に比べ三十五人減っています。

保険料は、医療費の増加等により、一人当たり平均五万六千六百九十円となり、昨年比一〇・一九%の増加となりました。

保険料の最高限度額は、一世帯三十九万円。低所得の人は、世帯の状況により軽減されます。

徴収方法は、今年から毎月徴収になりましたが、七月分までは今年分の保険料が確定しないため、昨年の額の二割づつを仮に徴収します。八月以降は、確定した今年

の額から七月までの仮徴収額を差し引き、その残額を六十二年三月までの残り八か月に分割して納入いただきます。

八月分の納入通知書に、保険料算出の根拠が記入してあります。ご覧になり、不明の点は住民課へお問い合わせください。

## 隠居はまだ早い

### — 老人クラブ 役員研修会 —

老人クラブ役員研修会が開かれました。七月二十二日(水)午後村民会館研修室で約五十人の参加でした。

この中で「高齢化社会における老人クラブのあり方」と題した、三古社会福祉事務所長、山岸洋氏の講演がありました。

●人生八十年と言われてきている中で、山古志村の老人人口は十九・九%で全国平均を二十年以上先取りしている。

村や地区のことを一番知っているのは老人。村全体の問題を老人の立場で考え、村おこし・村の活性化に大きな役割を担ってほしい。ワラ細工等の技術を伝承してもらいたい。などと話

されました。隠居するのはまだ早い。とのこと。老人のみなさまにまだまだ頑張ってほしいものです。

## 老齢福祉年金受給者は緑の年金証書の提出を

老齢福祉年金は、国民年金証書により年金が支払われています。年金額は、毎年八月に本人や扶養義務者の所得などを審査し、向う一年間の年金支給額が決定されます。

そこで、八月期分の年金を受け取られたら、その年金証書をすぐに役場・住民課に提出してください。年金証書の提出が遅れますと、十一月期分の年金をお支払いすることができなくなりますので、ご注意ください。

## 近郷バドミントン

### 交流大会

今年で二回目となる、近郷バドミントン交流大会が、七月十二日に虫亀小学校体育館で行われました。

- 結果を紹介します。
- ▲団体戦(男子) 優勝 虫亀A 準優勝 葎原A 優勝 葎原A 準優勝 虫亀A
- ▲団体戦(女子) 優勝 葎原A 準優勝 虫亀A 優勝 葎原A 準優勝 虫亀A

## 教育長杯

### 優勝ファイターズ

七チームが参加し、ナイターで連日戦われていた、教育長杯争奪野球大会は、ファイターズが優勝しました。二位はアパッチ。その他の参加チームは、イーグルス、太田、PTA、バッファローズ、シャークスでした。

## 北魚沼・古志

### 商工会青年部

#### 野球大会

毎年、各町村持ち回りで開催されている、「北魚沼・古志商工会青年部野球大会」。今年は山古志村で行われました。七月七日、時々小雨の降る日でしたが、大会が決行されました。参加は七町村(堀之内町、広神

## 献血登録のお願い

日ごろ献血にご協力をいただき、感謝を申し上げます。

新潟県は、気候等の関係で献血者が少なく、血液が不足がちです。とくに、急に大量の血液が必要になった場合や、特定の血液型の血液が必要な場合に不足することがあります。

このため、いままでの献血協力から一歩進んだ形の「献血者登録制度」を設け、定期的にもた急時に献血のご協力をお願いした



村、川口町、入広瀬村、守門村、湯之谷村、山古志村)の商工会青年部野球チーム。山古志中学校グラウンドと種原スポーツ広場グラウンドで熱戦の結果、山古志村は、残念ながら一回戦で敗退。優勝は、湯之谷村。準優勝は、川口町でした。

いというものです。ぜひ、みなさんの善意のご協力をお願いします。

1、登録できる人  
県内に居住または勤務し、年数回献血のご意志があり、とくに献血のお願いをしたときに積極的に献血していただける健康な人です。

年齢は、十六歳から六十四歳までの人です。体重は、男性四十五kg以上、女性四十kg以上。

2、登録の種類  
・二百cc、四百cc献血登録制度  
これは、現在みなさんからご協力いただいている普通の献血です。

3、登録の申し込み方法  
役場、保健所、ゆうあい号などに備えてある、「献血登録者申込書」に記入して提出ください。

4、登録された人には「献血登録者証」を発行します。

5、献血していただく方法  
献血協力のお願いは、緊急の場合はその都度、その他は年数回血液を必要とする約二週間前にハガキ、電話等で都合を伺い献血をお願いします。この他に

ご意志のあるときは、任意に献血をされても、差支えありません。

# 普及所から 農改コーナー

## 稲・実肥と水管理

### ▲実肥の効果

出穂後五日目ころ、いわゆる穂ぞろい期にチッソ追肥を行う方法を「実肥」または「実り肥」と呼んでいる。その効果は、次のようなものがある。

- ①登熟期の光合成が盛んになり、穂体の活力が高く維持される。
- ②下葉の枯れ上りが少なくなり、倒伏が軽減される。
- ③登熟、千粒重、整粒歩合が高まる。
- ④以上の結果、収量が高まり、品質の向上が期待できる。

### ▲実肥施用方法

出穂期から五日以内に、チッソ成分で十アル当り二kg以内を施す。(穂肥配合で十十三kg、尿素で三十四kg程度) 田に水を入れて、止めてから肥料を施用する。

### ▲実肥施用上の注意

- ①いもち病にかかっている稲、葉色が濃く葉が垂れている稲、完全に倒れそうな稲には逆効果なので施用をひかえる。
- ②稲の花が開花中や穂葉がぬれているときに散布すると、穀が褐斑を生じたり、稲を痛めることがあるので、夕方穀が閉じてから散布する。
- ③施用時期が遅くなるほど、効果が低下する。また、施肥量が多い場合は食味に悪影響を及ぼすので注意する。
- ④間断かん水を行い、根の機能を維持し登熟向上をはかる。

斑を生じたり、稲を痛めることがあるので、夕方穀が閉じてから散布する。

③施用時期が遅くなるほど、効果が低下する。また、施肥量が多い場合は食味に悪影響を及ぼすので注意する。

④間断かん水を行い、根の機能を維持し登熟向上をはかる。



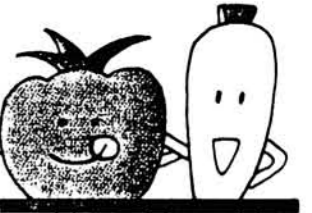
○穂ばらみ末期(出穂前6日位)から穂揃期(出穂後7日位)までの10~15日間は6~9cmの深水とする。  
注: 気温・水温とも高いので2~3日おきに必ず水の入れ替えをする。

●ハクサイ 生育適温の幅が狭いため、適期播種を心がけましょう。無理な早まきは、軟腐病やウイルス病の発生原因となります。

根こぶ病防止のため、連作を避け、畑の排水をよくします。また、石灰の施用や、発病が予想される場合はコブトール粉剤を一坪当り(十本当り)六十gの割合で全面散布し、耕し、植え穴に一株当り四gを混入します。

●ブロッコリー 初期生育が遅れると、花蕾が小さくなるので、丈夫な苗をつくり初期生育を促進させます。

多肥を好む作物なので、堆肥などを施し土づくりを充分に行う。病害虫がつきやすいので、定期的に予防しましょう。



## 秋野菜の作り方

### ●キャベツ

生育初期の管理を重点に、早期の病害虫防除を行います。

①幼穂形成期から穂ばらみ・出穂期にかけては、最も水を必要とする時期です。

②出穂後二十五日を落水のめやすとし、同化産物を効率よく穂に転流させる水の操作を行う。

③フェーン現象の発生時には、蒸散作用が激しくなるため、一時的に深水とし稲を保護する。

## サバイバル ナイトウォークに 挑戦してみませんか

サークル「ほうきんとうII」が主催し、山古志村公民館が共催で行われる「サバイバル・ナイトウォークパートII」。昨年に続き二回目です。

全行程二十七キロメートルに、あなたも参加・挑戦してみませんか。

### ■期日・時間・場所

八月八日(土)・九日(日) 集合時間午後八時、出発午後九時。集合場所、村民会館。

### ■コース

村民会館前発→塩谷→木沢→中山運動公園(川口町)→

## 第19回山古志村総合レクリエーション大会

・期日 8月23日(日) 午前9時から  
・会場 山古志中学校グラウンド(雨天の場合、体育館)  
※村民総参加のレクリエーション大会です。家族そろってご参加ください。



竜光→十二平→村民会館着  
※お問い合わせは、山古志村教育委員会へ(電話 59-2333)

## 成人式のご案内

・期日 8月14日(金) 午前9時から  
・会場 村民会館(式典・懇親会) 蒼栄神社参拝  
・該当者 昭和41年4月2日から42年4月1日までに生まれた人

## 村PTA連絡協議会 研究集会

村PTA連絡協議会が、研究会を開きます。期日は8月21日(金)、会場は村民会館。  
・研究主題 「たくましい、山古志村の子どもを育てるために、今PTAは何をすべきか」

## 診療所の休診

内科・歯科両診療所とも、お盆を中心に二日づつ休診いたします。

### ●内科の休診日

八月十五日と十七日。(十六日が日曜日のため十五日から十七日まで三日間続けて診療がありません。)

### ●歯科の休診日

八月十四日と十五日(十六日も日曜日で休診)

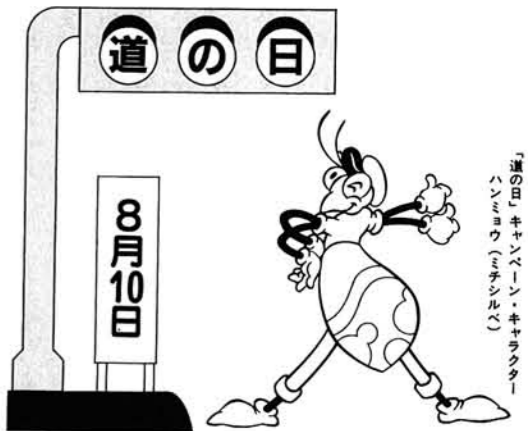
## 日々雑感

### 梅雨明け

梅の実の熟する頃になると毎年梅子江流域の各地に長雨が降り、中国ではこれを梅雨と言ひ、同じ頃の雨を日本ではあきみだれと呼んだ。芭蕉のころの日本書紀には「これさみだれ」を梅雨と名づく」とある。

今年の冬は例年になく雪の少ない年であった。そのうえ、からつゆで七月の始めから各地で水不足が心配されたが後半大地に恵みを遺して前線は北上した。飲料水ばかりでなく生活用水、農業、工業用水などを含めて、水は私たちが生きてゆく上で欠くことのできない大切な宝である。

大都市への産業と人口の集中を抑制し、若年層の地方定住を目指して、昭和五十二年に策定された第三次全国総合開発計画も、結果は東京圏への人口集中が続き、このたび決定された四全総は多極分散型の国土形成を目指し、「定住構想をさらに発展した交流と定住」と位置づけているが、東京圏への人口集中の傾向は否定し得ない。二十世紀に入ると水の使用量は現在の二・五倍も必要になるといわれる。豪雪地帯は日本の国土の半分強、ここに住む人は全人口の



八月は「道路をまもる月間」です。さらに、道路の意義・重要性に対する国民の関心と道路愛護の精神を高めるために、六十一年から八月十日が「道の日」と定められ、この日は幅広く各種行事が行われます。

道路は日用品の必需品、生鮮食料品の約二割を運ぶなど、私たちの生活を豊かにするためには、欠くことのできない基本的施設です。しかし、欧米諸国に比べると以下の整備水準であり、まだまだ遅れています。二十一世紀に向けて、急速な高齢化など国民生活を取りまく環境の変化に対応して、真に豊かな国民生活を実現するために、いまこそ積極的な道づくりが求められています。

村内の道路も徐々に整備されてきていますが、まだまだ幅員が狭かったり、未舗装の道路も多く整

## 村長酒井省吾

二割にも満たない。豊かな土地、豊かな水資源、恵まれた自然環境があるのに……。信濃の川の水を利根川に、と言う前にもっと地方を重視した施策を強く望みたい。

部落の北のはずれ旧榎街道をすこし離れたところに小さな石像が祭られている。石動様という。前に一坪にも足りない窪みがあるが、不思議に此の水は乾くことがないと伝えられていて、水と、ころり成仏の信心をあつめている。今朝早くたづねて見ると小経はきれいに草がむしられ墓前がいっぱい咲いていて献燈のあとも多く見えた。餓鬼の世界に落ちていた母を救うにはどうしたら良いか、と目蓮が聞くとお釈迦様は「七月十五日遊行に出かける大勢の僧に供養すると其の功德に依って母は救われるであろう」と。インドでは雨季の三ヶ月は旅行が困難のため僧は一ヶ所に定住して修業をした。修行明けの七月十五日僧たちに布施をすれば祖先の救いになる、これがお盆の起源であるという。ひと月遅れで根付いたお盆ももう間近のことではどうしたか物故者が非常に多い。静かにご冥福をお祈り申し上げる次第である。合掌